

バイテク作物は 環境保護に 貢献できるのでしょうか？



バイテク作物は
すでに環境保護に
貢献しています。

バイテク作物が環境によくないという話を
耳にされるかもしれませんが、実際には、
バイテク作物はより少ない資源でより多く
の生産を可能にするため、環境保全型の農
業を実現しています。

環境に対するチャレンジ

20% 人口増加
2050年まで¹ =

多くの農作物が必要となります



食料



繊維



燃料

2 通りの解決法

1

森林や草原
などの土地を
農地に変え
生産を増やす

2

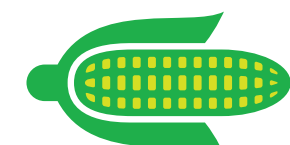
バイテク作物などの
農業技術を使い、
現在の農地の
生産性を向上させる

バイテク作物はこの問題を解決します

2014年には
バイテク作物により
2100万ヘクタールの
農地を減らしても

それまでと同じレベルの
食料、燃料、繊維の生産が
可能となりました。

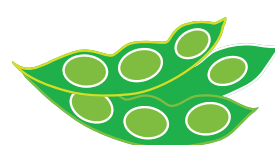
この面積は、米国アイ
オワ州とミズーリ州の
全耕地面積、あるいは
日本の全耕地面積の約
5倍に相当します。²



トウモロコシ

890万

ヘクタール



ダイズ

770万

ヘクタール



ワタ

360万

ヘクタール



ナタネ

61万

ヘクタール

世界全体でこれだけの農地が新たに必要になります。³

¹World population projected to reach 9.7 billion by 2050 (2015). Retrieved from: <http://www.un.org/en/development/desa/news/population/2015-report.html>.

²Brookes, G. and Barfoot, P. (2016). GM crops: global socio-economic and environmental impacts 1996-2014. Retrieved from <http://www.pgeconomics.co.uk>.

³Brookes, G. and Barfoot, P. (2016). GM crops: global socio-economic and environmental impacts 1996-2014. Retrieved from <http://www.pgeconomics.co.uk>.